

3 食育の推進

生涯にわたってすこやかな心身と豊かな人間性を育むために、児童生徒がその発達の段階に応じて食に関する正しい理解と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校給食の充実を図りながら、学校における食育を一層推進する。

学校教育活動全体を通じて行う食に関する指導の充実

- ◇学校教育活動全体を通して、食育の推進を図り、食に関わる資質・能力の育成に努める。
 - ・食育推進体制を整備し、全教職員の共通理解を図った組織的な食育推進
 - ・学校教育目標を踏まえた食に関する指導の全体計画等に沿って、給食の時間を活用した食に関する指導や各教科等における継続的、体系的な指導
 - ・食に関する体験活動を通じた食に関する理解を深める指導
 - ・食事マナーや会食、健康と食事、安全・衛生等給食の時間の特性を生かした給食指導
 - ・食に関する健康課題を有する児童生徒への個別の相談指導の充実と関係機関等との連携

安全性の確保と教材として学校給食の充実

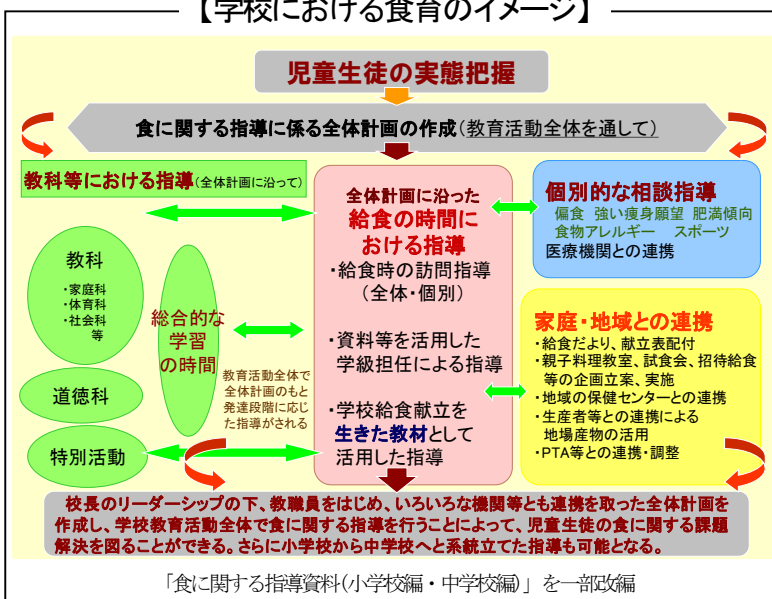
- ◇衛生面に配慮した安全な食事であるとともに栄養バランスのとれた多様な食品が適切に組み合わせられた食事の摂取を通して、自己の健康管理ができる能力の育成に努める。
 - ・郷土料理や伝統的な食文化の継承と地場産物・国産食材の積極的な活用、自然の恩恵や食に関わる人々の活動についての理解を深める指導
 - ・ゆとりのある給食時間の設定と望ましい食事環境の整備
 - ・食中毒の防止、異物混入の防止、食物アレルギー対応、窒息事故防止等の学校給食におけるリスクマネジメントの徹底

家庭や地域との連携の推進

- ◇家庭や地域社会と連携、協働し、朝食欠食をなくすなど児童生徒の望ましい食習慣の定着に努める。
 - ・地域の幼保こ小中高との連携による発達の段階に応じた食に関する指導の推進
 - ・親子料理教室、給食試食会、児童生徒による弁当づくりの実施、学校保健委員会の活用等、家庭や地域社会も巻き込んだ取組の工夫

■関連資料

【学校における食育のイメージ】



○「第4次かがわ食育アクションプラン」における取組目標のうち課題となっている項目

項目	現状 (R2年度)	R3年度	R7年度目標	
朝食を毎日食べている児童生徒の割合	小学校6年生	85.2%	85.1%	87.5%
	中学校3年生	82.5%	82.1%	83.0%
栄養教諭・学校栄養職員による教科等における食に関する指導を行っている学校の割合	小学校	96.0%	94.0%	100%
	中学校	79.1%	92.3%	100%
地域と連携した体験活動を行っている小学校の割合		77.5%	82.1%	100%
学校給食における地場産物を活用する割合(金額ベース)		54.3% (参考値) 抽出調査	49.6%	維持向上